

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 9 日(2023.5.9)

【公開番号】特開 2022-168048(P2022-168048A)
【公開日】令和 4 年 11 月 4 日(2022.11.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-203
【出願番号】特願 2022-141592(P2022-141592)
【国際特許分類】
A 63 F 5/04(2006.01)
【FI】
A 63 F 5/04 620

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 4 月 26 日(2023.4.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技者による開始操作に基づき遊技を開始させる手段と、
遊技者による終了操作に基づき遊技を終了させる手段と、
判定契機が生じた場合、遊技者に有利となる特定事象を生じさせることを可能とする特定
判定を実行可能な手段と、

前記特定判定の結果が前記特定事象を生じさせることに対応する特定結果である場合に
前記特定事象を生じさせることが可能となる手段と、

前記特定判定の結果が前記特定結果とならなかった場合、特定数値情報に対して所定の演
算処理を実行可能な特定手段と、

30

前記特定数値情報が特別数値情報となった場合に、前記特定事象の生じ易さを異ならせる
ことが可能な手段と、

所定の前記判定契機が生じた遊技が第 1 遊技であった場合には前記特定数値情報に対して
第 1 演算処理を実行し、所定の前記判定契機が生じた遊技が前記第 1 遊技とは異なる第 2
遊技であった場合には前記特定数値情報に対して前記第 1 演算処理とは異なる第 2 演算処
理を実行する又は所定の前記判定契機が生じた遊技が前記第 2 遊技であった場合には前記
演算処理を実行しないことを可能とする手段と、

を備え、

前記第 1 遊技と前記第 2 遊技とを遊技者が識別可能とされていることを特徴とする遊技機
。

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

本発明は、
遊技者による開始操作に基づき遊技を開始させる手段と、
遊技者による終了操作に基づき遊技を終了させる手段と、
判定契機が生じた場合、遊技者に有利となる特定事象を生じさせることを可能とする特定

50

判定を実行可能な手段と、

前記特定判定の結果が前記特定事象を生じさせることに対応する特定結果である場合に前記特定事象を生じさせることが可能となる手段と、

前記特定判定の結果が前記特定結果とならなかった場合、特定数値情報に対して所定の演算処理を実行可能な特定手段と、

前記特定数値情報が特別数値情報となった場合に、前記特定事象の生じ易さを異ならせることが可能な手段と、

所定の前記判定契機が生じた遊技が第1遊技であった場合には前記特定数値情報に対して第1演算処理を実行し、所定の前記判定契機が生じた遊技が前記第1遊技とは異なる第2遊技であった場合には前記特定数値情報に対して前記第1演算処理とは異なる第2演算処理を実行する又は所定の前記判定契機が生じた遊技が前記第2遊技であった場合には前記演算処理を実行しないことを可能とする手段と、

を備え、

前記第1遊技と前記第2遊技とを遊技者が識別可能とされていることを特徴とする。

10

20

30

40

50